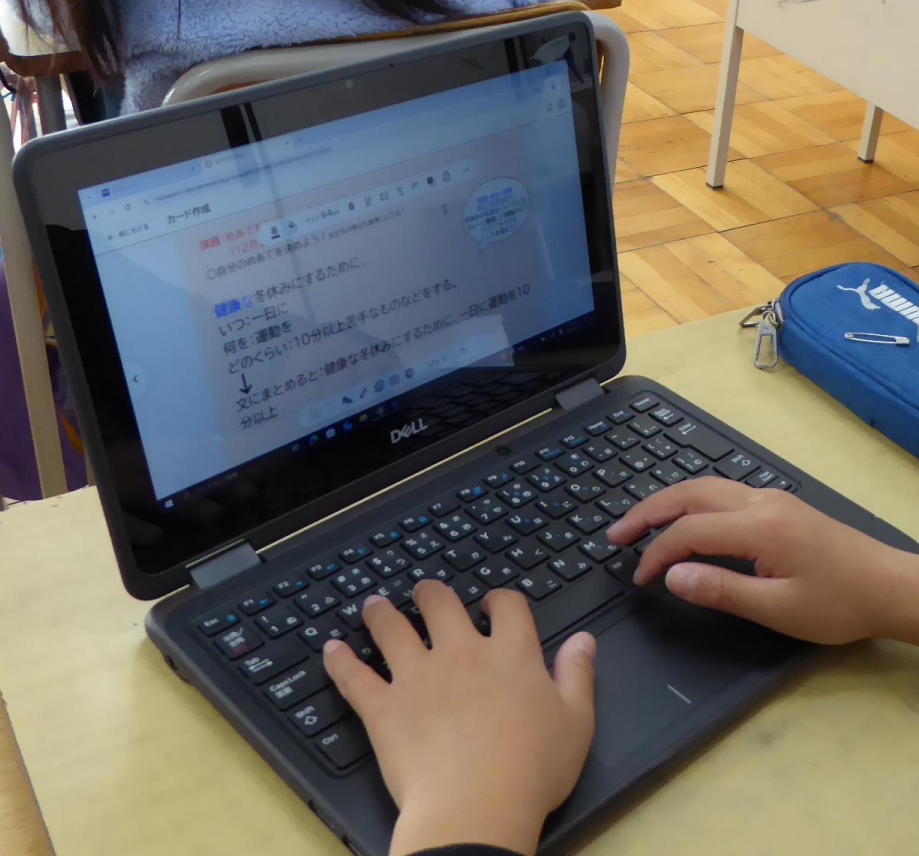


小学校第5学年 学級活動（3）



クラウドのワークシートから、1年前の冬休みなどの課題を振り返り、次の冬休みに向けて、自分に合った目標を意思決定する。

小学校第5学年 学級活動（3）「もうすぐ冬休み」

■本時のねらい

充実した冬休みの生活に向けて必要なことについて話し合い、自分に合っためあてを立てて実践できるようにする。

■本時の概要

自分のことだけではなく、家族の一員としての役割を果たすことが重要な冬休みに向けて、長期的な見通しをもって取り組むことができるようにめあてを立てて取り組んでいくことが大切である。話し合いを通して、一人一人が自分に合った冬休みの行動目標を設定できるようにする。そして、決めたことをもとに一人一人が粘り強く実践し、なりたい自分の実現に向かって取り組んでいく。

■本時の指導計画（1時間）

導入

- ・これまでの冬休みや夏休みの生活を振り返り、問題意識を高める。

展開

- ・冬休みにどんなことを頑張っていきたいかについて話し合う。
- ・冬休みを充実するためにはどんなことが必要かを話し合う。

終末

- ・なりたい自分に近づくために自分が実践することを決め、入力する。
- ・決めたことを伝え合い、粘り強く取り組むことを確認する。

■活動の概要

クラウド上にある4年生の冬休みや5年生の夏休みの目標や振り返りのデータを参照し、これまでの長期休みの過ごし方に関する課題を見だし、クラウド上で共有する。一人一人の課題について提出することで、学級全体で問題意識を高める。

これまでの自分の生活を振り返り、冬休み中に頑張った「なりたい自分」の姿についてグループで話し合う。さらに、そのためにはどんなことが必要かをグループで話し合ったのち、学級全体で考えを深める。

実践可能な具体的なめあてや実践方法を決めることができるようにする。その際に、入力した友達のめあてを見たり、聞いたりしながら、自分に合っためあてを再考する。意思決定しためあてを意識して実践する。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（本時の活動）

【学習活動の場面】

授業の導入でクラウドに保存されている4年生の冬休みや5年生の夏休みの生活シートを開き、これまでの長期休みの目標や振り返りについて確認する。その際、教師は「クラウド上にあるこれまでの夏休みや冬休みの生活シートを開いて、目標や振り返りにどんなことを書いていたか確認してみましょう。気が付いたことを課題発見シートに入力し、提出フォルダへ入れてください。」と伝えた。

【子供の「深い学び」の姿】

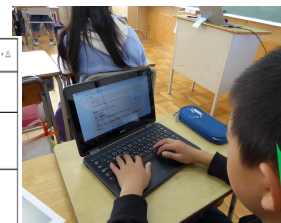
クラウドに保存してある夏休みや冬休みの生活シートを見ながら、これまでの過ごし方を振り返った。

Aは、宿題をいつも最後の日までやっており大変だったので、今度の冬休みは「宿題を早く終わらせる」ことを課題とした。また、同じグループのBが「これまでの長期休みでは外で運動しなかったこと」が課題であることをクラウドで確認した。

課題の解決に向け、休みをうまく過ごせない原因について話し合った。Bの原因は「外で遊ぶことは大事とわかってはいたけれど、何をしようかと考えているうちに後回しにしてしまった」ことであった。Aももう少ししたらやればいいと思っているうちに休みが終わりに近付いていたので、計画を立てずに過ごしていたことが原因であるという共通点を見いだした。

そこで、Aは、計画を立てて実際に行うためには取り組む時間や内容などをあらかじめ決めておくことが大切であると考え、朝、昼、夜に分けて書くことができる表を作成し、計画を立てた。

12月	曜日	朝	昼	夜
25日	水	2学期の漢字復習を1行練習 (5文字)	友達と公園で遊ぶ	算数の宿題1ページ 読書とゲーム(1時間)
26日	木	家庭科の宿題 (野菜炒めを作る)	友達と公園で遊ぶ ゲームは1時間まで	2学期の漢字復習を1行練習 (5文字) 算数の宿題1ページ
27日	金	大そうじの手伝い	友達と公園で遊ぶ ゲームは1時間まで	2学期の漢字復習を1行練習 (5文字) 算数の宿題1ページ
28日	土	大そうじの手伝い	買い物に行く	2学期の漢字復習を1行練習 (5文字) 読書



■指導上の工夫とICTの利活用

① これまでにクラウド上に保存された夏休みや冬休みの生活シートを振り返り、自分の問題意識を高める活動を位置付ける。

* 自分の課題を明確にするために、これまでに保存したシートを活用することができる。

② 冬休みに粘り強く取り組むことを確認するため、クラウド上で全員の行動目標を見ながら実践への意欲を高める時間を確保する。

* 事後の活動において、意思決定した行動目標を強い意思をもって粘り強く実行していくことが重要になる。お互いの目標を知ること、自分も頑張ろうと前向きな気持ちで自己実現を図ろうとする態度を育成することができる。

【当該指導での「深い学び」】

これまでの自分の様々な活動をクラウドで振り返り、今後の計画を立てた上で、クラウドで共有した友達の意見を見たり、グループで話し合ったりした。これによって、それぞれの児童で課題は異なるが、原因は同じであることがわかった。みんなで解決策を話し合うことで、個人の具体的な計画の決定に役立てることができた。

【活用したソフトや機能】
オクリンクプラス

学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第6章 特別活動

第2の2

(3)一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとすること。

第2の3の(2)

(2) 2の(3)の指導に当たっては、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲をつなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、児童が記録し蓄積する教材等を活用すること。